



## 主要な農作物の生育情報

平成29年度 第3号

(平成29年6月14日)

福島県農林水産部農業振興課



### 【作物】

#### 1 水稻

6月13日現在の農業総合センターの生育調査では、本部（郡山）の草丈、茎数、会津地域研（会津坂下）の茎数が平年を下回っています。各調査地点ともに主稈葉数は平年より0.2～1.0枚少なく、生育は最大4～5日程度の遅れとなっています。また、葉色は平年より淡いです。

遅い田植えの水田では浅水管理にて有効茎の確保に努めましょう。

表1 水稻の生育状況（※）

調査場所	品 種	移植期 (月.日)	6月13日調査			
			草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	主稈葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)
本 部	コシヒカリ	5. 1	32.1 (95%)	539 (102%)	7.6 (-1.0)	36.9 (-4.9)
	ひとめぼれ	5. 1	29.3 (92%)	535 (93%)	7.8 (-0.8)	38.3 (-5.9)
	コシヒカリ	5.15	25.8 (91%)	316 (85%)	6.5 (-0.6)	35.4 (-4.4)
	ひとめぼれ	5.15	25.1 (95%)	347 (85%)	6.6 (-0.9)	38.1 (-4.3)
会津地域 研 究 所	コシヒカリ	5.19	33.3 (103%)	310 (82%)	7.4 (-0.3)	37.5 (-2.0)
	ひとめぼれ	5.19	30.9 (101%)	358 (86%)	7.4 (-0.3)	39.6 (-2.2)
浜 地 域 研 究 所	コシヒカリ	5.10	33.6 (102%)	458 (110%)	7.1 (-0.2)	39.4 (-0.7)
	ひとめぼれ	5.10	32.0 (104%)	483 (107%)	7.4 (-0.2)	42.5 (-1.0)

※ 調査場所は、本部（郡山）、会津地域研究所（会津坂下）、浜地域研究所（相馬）。

( ) 内の数字は、平年比較値を示す。

#### 2 小麦（農業総合センターにおける生育状況）

小麦の出穂期は、本部（郡山）と会津地域研究所（会津坂下）では平年より2～4日遅れ、浜地域研究所（相馬）では平年より3日早まりました。成熟期は、登熟期間の気温が低かったことから平年より遅れる見込みです。

### 【野菜】

#### 1 夏秋きゅうり

県中地方では定植が平年並の5月中旬から行われました。夜温の低下等により茎がやや細く生育しているほ場も見られますが、概ね平年並に生育しています。多くのほ場では、6月中下旬から収穫が始まる見込みです。

#### 2 トマト

収穫は4月中旬定植の作型で平年並の5月下旬から始まり、5月上旬定植の作型では6月中旬からの見込みです。低段の果実にチャック果、窓あき果の発生が見られますが、果実肥大は概ね良好です。

南会津地方では、共同育苗の播種が平年並の4月上旬に行われましたが、夜温の低下等により平年より生育がやや遅れたため、定植は昨年よりやや遅く6月初旬から行われました。

#### 3 さやいんげん

播種は平年並の4月中下旬に、定植は平年並の5月中下旬にかけて行われました。概ね順調に生育しており、6月中下旬から収穫が始まる見込みです。

#### 4 ピーマン

トンネル栽培の作型は、平年並の4月下旬頃から定植され、収穫は平年並に5月下旬から始まりました。夜温の低下等により果実の肥大が遅いですが概ね順調に生育しています。

#### 5 春ブロッコリー

県南地方では、定植がほぼ平年並の3月中旬以降から始まり、出荷は平年並の5月中旬から開始されました。出荷のピークは平年並の5月下旬でした。

### 【果 樹】（福島県農業総合センター果樹研究所における6月1日現在の生育概況）

#### 1 もも

果実肥大を暦日で比較すると、「あかつき」は縦径が平年比116%、側径が平年比123%と平年より大きく、満開後日数による比較でも、平年より大きい状況です。

#### 2 なし

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」は縦径が平年比112%、横径が平年比116%と平年より大きく、生育日数による比較でも、平年より大きい状況です。

#### 3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると、「ふじ」は縦径が平年比104%、横径が平年比111%と平年より大きく、満開後日数による比較でも、平年より大きい状況です。

### 【花 き】

#### 1 コギク

県北地方の8月咲きの定植は平年並の4月下旬に、9月咲きの定植は平年並の5月上旬から下旬にかけて行われました。一時、降水量が少なかったことにより生育がやや停滞していましたが、灌水やその後の降雨により平年並みに回復してきました。

病害虫は、苗からの持ち込みにより白さび病の発生が散見され、昨年度問題となったべと病の発生も一部でみられます。アブラムシ類の発生が多くなってきており、アザミウマ類、ハダニ類も増えてきました。

#### 2 リンドウ

5月まで生育がやや停滞しているところもありましたが徐々に回復し、平年並みに近づいてきました。ただし南会津地方では草丈、葉数ともに平年と比較してやや進んでいます。

病害虫では、アザミウマ類やハダニ類、リンドウホソハマキの発生が一部で見られる程度で、病気の発生はほとんどありません。

### 【飼料作物】

牧草は、5月中旬から1番草の収穫期を迎え、現在は山間部を中心に収穫作業が行われています。収量は4月が小雨だったため平年よりやや少ないですが、品質は良好となる見込みです。5月上旬から播種作業が行われ、順調に生育しています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujoyouhou>